

手話を含む多様な コミュニケーション手段の普及について

～すべての人が自由にコミュニケーションできる市を目指して～

はじめに

吹田市では、令和5年12月1日より「手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例」を施行しています。

この条例は、手話への理解促進及び手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境の整備による、全ての市民が相互に一人一人の人格及び個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目的としています。

本条例の制定により、これまで以上に手話の普及や意思疎通支援の取り組みを進め、インクルージョンの理念の浸透に努めたいと考えています。

Contents

- ① 目指す姿
- ② 吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段を促進する条例
- ③ 吹田市の聴覚障がい者、視覚障がい者について
- ④ 現在の取り組み
- ⑤ 検討中の取り組み
- ⑥ 課題

目指す姿

① 手話への理解の促進及び普及

➡ あいさつなどの簡単な手話を身に着けて、誰もがコミュニケーションをとりやすいまちにします。

② 障がい者が情報を取得しやすく、コミュニケーション手段を選択して利用しやすい環境の整備

➡ 障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段を用いて、障がい者が容易に情報を取得することができ、スムーズに意思疎通ができるまちにします。

③ コミュニケーション支援者の育成及び確保

➡ 障がい者が必要なときに必要なコミュニケーション支援を受けられるまちにします。

吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例（抜粋）

第1条（目的）

- 手話が言語のひとつであることへの理解と手話の普及の促進。
- 障がい者が情報を取得しやすく、視覚や聴覚など個々の障がいに合ったコミュニケーション手段を容易に利用できる環境整備の促進。

第4条（市の責務）

- 手話への理解促進及び普及を図るとともに、障がい者の情報の取得及びコミュニケーションの円滑化に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。

吹田市 手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例

手話への理解を促進し、手話を始めとする多様なコミュニケーションのための手段を利用しやすい環境を整備することにより、障がい者の社会参加を促進し、全ての市民が、相互に一人ひとりの人格及び個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するための条例です。

～市民の皆さん、事業者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。～

◆手話言語の理解の促進及び普及

このことは、障がい者（障害者）の権利に関する条約（や日本の「障害者基本法」）にも示された世界的な認識です。

手話は、手振や体の動きなどを使って意思を伝える言語です。聞こえる人の話し言葉と同様に、あらゆる場には盲点・聴覚支援・仕立支援を要する上で欠かせないコミュニケーション手段です。

市民の皆さんに手話が言語であることの認識を深めていただくとともに、市は手話を普及し、手話がより使いやすい環境を整備をします。

（※「手話」：聞こえに障がいがある、多様な言語として言語を習得した人）

吹田市 2022年12月

お問い合わせ
吹田市福祉部 障がい福祉室 延寿ケルニラ
電話 06-6384-1347 ランクレス06-6385-1031
メール kyufe-shoga@city.suita.osaka.jp

◆障がい者の情報取得・コミュニケーション手段の選択と利用

障がい者にとって、各種コミュニケーション手段の利用は、日常生活・社会生活を営む上で欠かせないことではございません。

手話、実写、点字、その他の手段、録音、音声、情報機器など

市は障がい者がそれぞれの障がいの特性や状態に合った各種のコミュニケーション手段を選択し、進んで使うことができる環境を整備を進めます。

◆市民の皆さん・事業者の皆さんへ

市民の皆さん、事業者の皆さんには、手話が言語であることの認識や障がい者のコミュニケーション手段の選択・利用の大切さをご理解いただき、障がい者がそれらにより使いやすい環境となるようご協力をお願いします。

また、事業者の皆さんには、コミュニケーション手段の利用が必要な障がい者への合理的配慮の提供をお願いします。

（※「合理的配慮」：必要性や状況に依り、障がい者の障がいに対応する配慮。）

吹田市の聴覚障がい者・視覚障がい者等について

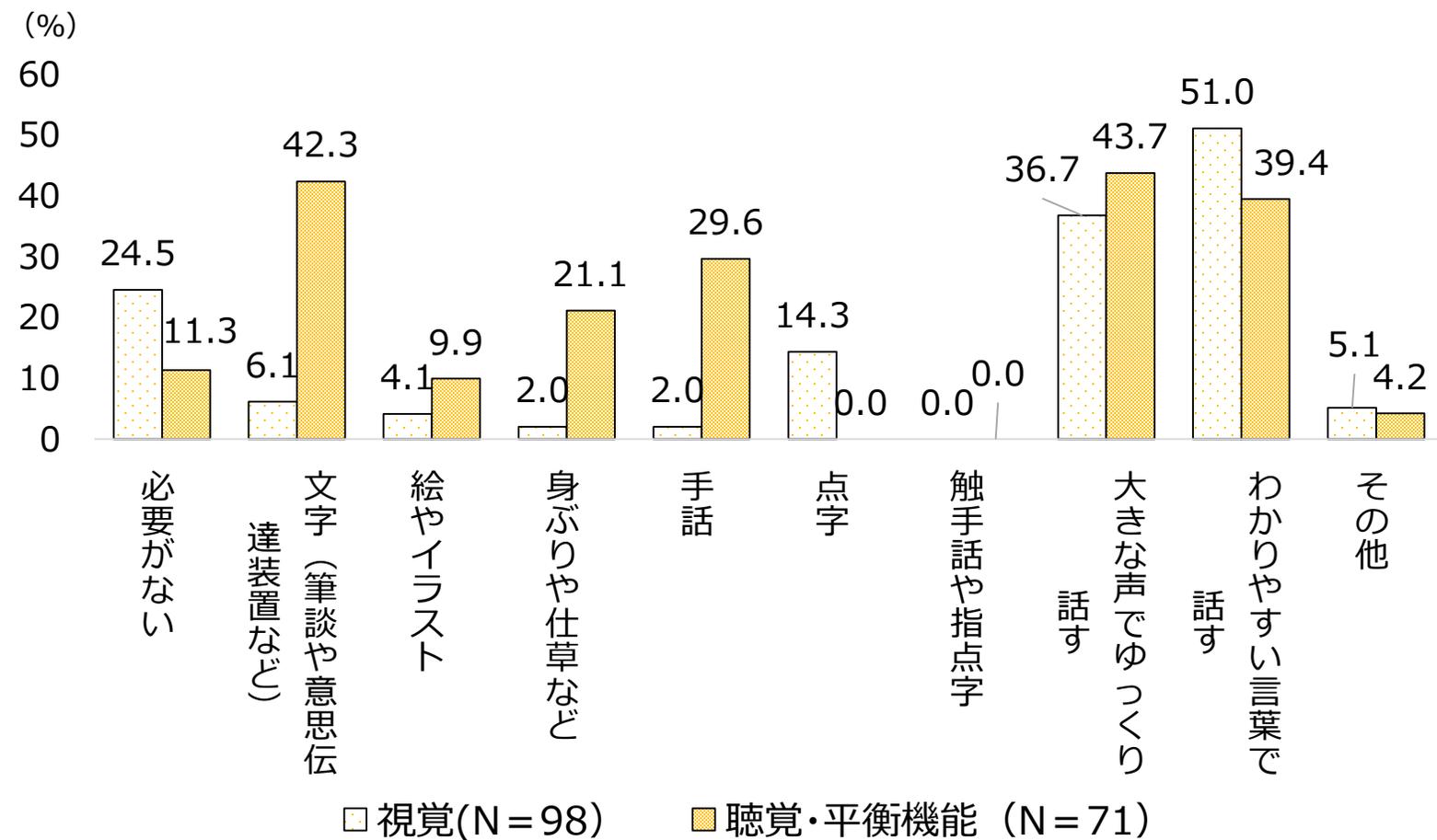
年度	身体障がい 総数	視覚 障がい	聴覚・平衡 機能障がい	肢体 不自由	音声・言語・ そしゃく機 能障がい	内部 障がい
令和元年度(2019年度)	14,479人	915人	1,010人	8,145人	165人	4,244人
令和2年度(2020年度)	12,360人	760人	871人	6,855人	145人	3,729人
令和3年度(2021年度)	12,292人	760人	865人	6,763人	145人	3,759人
令和4年度(2022年度)	12,184人	753人	874人	6,691人	130人	3,736人
令和5年度(2023年度)	12,140人	742人	868人	6,611人	128人	3,791人

※障がい者手帳所持者数は各年度末現在

※令和2年度(2020年度)から身体障がい者手帳などについて、職権消除行っている。

アンケート調査：コミュニケーションを取るときに必要な支援について（複数回答）

視覚障がい者は「わかりやすい言葉で話す」が、聴覚障がい者は「大きな声でゆっくり話す」が最も多い。



※障がい福祉計画の策定に向けたアンケートより

【障がい者手帳（個別障がい）】

年齢	視覚障がい		聴覚障がい	
18～39歳	38人	5.1%	74人	8.9%
40～64歳	169人	22.8%	144人	17.3%
65～75歳	151人	20.4%	112人	13.5%
75歳以上	384人	51.8%	501人	60.3%
合計	742人	100%	831人	100%

【アンケート回答者 ※サービス利用者を中心に抽出】

年齢	視覚障がい		聴覚障がい	
18～39歳	14人	14.3%	20人	28.2%
40～64歳	38人	38.8%	26人	36.6%
65～75歳	15人	15.3%	5人	7.0%
75歳以上	31人	31.6%	20人	28.2%
合計	98人	100%	71人	100%

現在の取組（その1）



① すいたん手話トライ

- ・手話の普及を目的として、令和6年3月からYou Tubeの配信を開始。
- ・これまで、レジャー編、動物クイズ編、手話クイズ編を配信。

② SDGsトレイン、庁内デジタルサイネージ

- ・手話及び多様なコミュニケーション手段の普及のため、阪急電車のSDGsトレインや市役所内のデジタルサイネージにポスターを掲示。



現在の取組（その2）

③ 手話講習会

- ・手話通訳ボランティアを養成するために開設。
- ・習熟度別に入門コース（週1回：全48回）、会話コース（週1回：全24回）を設置。
- ・より実践的なものとするために、対面により実施している。

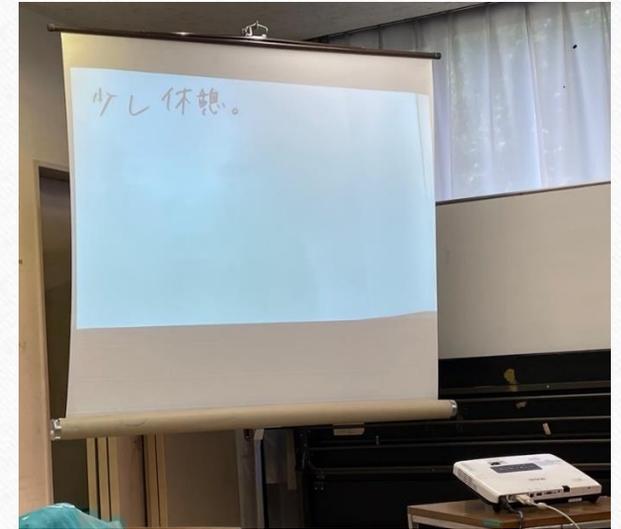
④ 点字講習会

- ・視覚障がい者の利便性の向上に資するよう、活字で書かれた書籍や新聞などの内容を、点字にする情報保証段である、点訳の担い手を養成するため、週1回（全10回）の講座を設置。

現在の取組（その3）

⑤ 要約筆記講習会

- ・手話を第一言語としない聴覚障がい者の聞こえの保証を目的とした情報保証手段である、要約筆記の担い手の養成のため、週1回（全18回）の講座を設置。書画カメラを用いて実技を行いながら、より実践的な講座を実施している。



⑥ 施策推進方針の策定

- ・条例の目的を達成するための施策の方針を定めるため、市役所関係部署の職員による庁内作業部会、障がい当事者や学識経験者で構成する庁外作業部会を設置。12月までに「施策推進方針」を作成。

検討中の取組

① 吹田市内大学の手話サークルとの連携

- ・市内大学の手話サークルから、学んだ手話の実践の場の提供を求められており、大学生の力を借りて、手話の普及等を進めたい。

② 手話講習会の拡充

- ・現在の手話ボランティアの養成を目的とした講習会以外に、さらに高度なコースやもっと手軽に手話を学ぶことができるコースの設置を検討している。
また、現在の講習会には定員以上の応募があるため、定員増を図りたい。



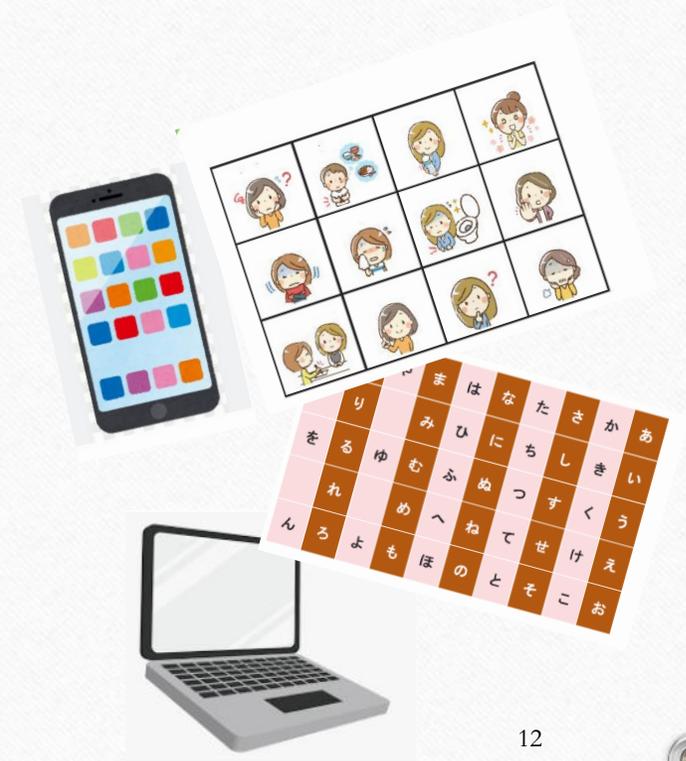
課題

① 手話の普及

- ・「すいたん手話トライ」の視聴回数の増加。（現在、100～300回程度）
- ・若年層への効果的な普及。
- ・手話の裾野を広げるための講習会の在り方。

② 手話以外のコミュニケーション手段の普及

- ・手話以外の意思疎通手段（コミュニケーション支援ボード、ICT技術など）の普及。
- ・「要約筆記」「点字」講習会の受講者数の増加。



アドバイスいただきたいこと

- ① 現在の取組をより効果的にする手法
- ② 検討中の取組の活用方法
- ③ 現在の取組・検討中の取組にはない
新しいアイデア

「すいたん手話トライ」
の再生数を伸ばしたい！！

おわりに

障がいの有無に関わらず、すべての人が同じ情報を取得できるようにする施策が必要であり、本市でも、これまで以上に取り組みをやっていきたいと考えています。

今回いただけるアドバイスを参考にしながら、取り組みをこれまで以上に進め、吹田市が、すべての人にとって暮らしやすい街になるように、頑張ってください。

～ご清聴ありがとうございました～
